

03 特殊詐欺 ~オレオレ詐欺を止める~



令和7年における10月末時点の市内での特殊詐欺被害は12件です。このうち9件がオレオレ詐欺で被害金額は約1,500万円です。

令和6年中の埼玉県内でのオレオレ詐欺被害金額は約53億円で前年より約20億円増加しています。特殊詐欺の被害を増やさないためにはオレオレ詐欺への対策が必要です。

<特殊詐欺事例>

ニセ子ども
ニセ孫から
ニセ市役所職員
ニセ銀行員から
ニセ警察官から

「会社のお金が入ったかばんを失くしてしまった。今日中にお金がいるんだけど何とかならない?」

「医療費の還付金がありまして、振り込みのために今お使いのキャッシュカードを変更する必要があります。今からお持ちの通帳やキャッシュカードを確認に伺います」

「特殊詐欺グループを捜査しているのですが、あなたの銀行口座が不正に使われていることが分かりました。今からお持ちの通帳やキャッシュカードを確認に伺います」

このような電話には注意しましょう

オレオレ詐欺対策のポイント ①②

①留守番電話に設定する

犯人と会話しないことが重要です。

②見慣れない電話番号には出ない

+1や+44などから始まる国際電話による特殊詐欺が急増しています。

固定電話の国際電話の発信・着信が無料で休止できます

行田警察署の窓口で申請書に住所・氏名・電話番号などの記入のみで手続き可能です。国際電話不取扱受付センターホームページからの申請もできます。

▶問い合わせ 同センター 0120-210-364



国際電話不取扱受付
センターホームページ

③いつもの電話番号にかけてみる

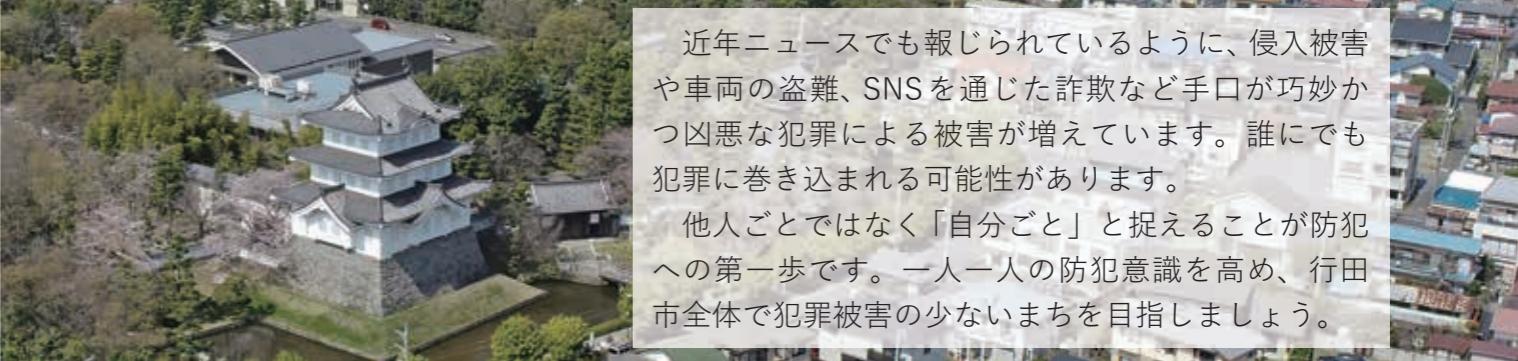
(もし電話に出てしまったら) オレオレ詐欺は「スマホが壊れたからこの番号に電話してほしい」など連絡先を指定してきます。一度電話を切り、必ず自分の知っている本人の電話番号にかけて確認しましょう。

④家族に相談する

犯人は考える余地を与えないよう、「今すぐ支払いが必要だ」と急かしてきます。大切な人に相談されたらすぐに助けたくなるかもしれません。しかし、お金の話が出た場合は一人で判断せず、身近な人に相談しましょう。

※特殊詐欺対策電話機を購入する場合の補助金を5ページで紹介しています。

みんなの力で 犯罪の少ないまちに！



近年ニュースでも報じられているように、侵入被害や車両の盗難、SNSを通じた詐欺など手口が巧妙かつ凶悪な犯罪による被害が増えています。誰にでも犯罪に巻き込まれる可能性があります。

他人ごとではなく「自分ごと」と捉えることが防犯への第一歩です。一人一人の防犯意識を高め、行田市全体で犯罪被害の少ないまちを目指しましょう。

01 現状を知る ~市内の犯罪発生状況~

前年同月比犯罪発生件数(行田警察署調べ)

	令和6年1～10月	令和7年1～10月
特殊詐欺(オレオレ詐欺など)	7	12
住宅対象侵入窃盗(空き巣など)	83	77
自転車盗難	68	75
自動車盗難	約7割は無施錠	5
オートバイ盗難	2	3
車上ねらい	10	19



02 自転車・自動車盗難 ~施錠の徹底を~



埼玉県内の令和6年自転車盗難被害は14,220件で、被害の約64パーセントは無施錠でした。

また、高級車や海外で人気の軽自動車が狙われやすい自動車盗難は781件(前年より98件増)、オートバイ盗難は1,004件(前年より250件増)で増加傾向です。

自転車・オートバイ・自動車盗難対策のポイント ①②

①ツーロックが有効

通常の鍵の他にワイヤー錠、U字ロック、ハンドルロックなどをプラスする

②わずかな時間でも必ず施錠

自宅での駐輪・駐車や買い物などのわずかな時間でも施錠を徹底する

